

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター施設整備費（電力確保対策）		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	国立病院課		課長：片岡佳和		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-5 政策医療を向上・均てん化させる				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条	関係する計画、通知等	平成23年5月2日厚生労働省発医政0502第4号「平成23年度独立行政法人国立精神・神経医療研究センター施設整備費の国庫補助について」					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災による影響を受け、停電を実施された場合等に備え、必要な電力を確保し、独立行政法人国立精神・神経医療研究センターが行う治療・検査等に重大な影響が生じないようにし、医療の提供を実施するため。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災による電力不足対策のため、独立行政法人国立精神・神経医療研究センターの自家発電設備の増設等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算						
		補正予算			689			
		繰越し等			▲ 591	591		
		計			98			
		執行額			98			
	執行率 (%)			100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	施設整備についての成果は、整備の完了であり、定量的な成果指標の設定は困難である。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施設整備についての活動を、定量的な活動指標をもって設定することは困難である。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	
単位当たりコスト	-		(円/ -)	算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、透明性は確保されている。なお、東日本大震災による電力不足に対応するため、緊急に随意契約を締結しているが、やむを得ないものと考ええる。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、透明性は確保されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当センターの事業目的を遂行する実効性の高い手段と考えている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	整備された施設については、当センターの事業目的に沿って、活用されている。	
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		
予算監視・効率化チームの所見			
—			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

-

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー

-

平成23年行政事業レビュー

-

※平成23年度実績を記入

厚生労働省

98百万円

[施設整備費補助金]

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター

98百万円

【一般競争入札等】

A. 電気設備改修工事等

川北電気工業(株) 東京支社他

98百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
建物附属設備	川北電気工業(株) 東京支社 エネルギーセンター電気設備	34			
建物附属設備	川北電気工業(株) 東京支社 中央館電気設備	7			
修繕費	川北電気工業(株) 東京支社 切替工事等	8			
建物附属設備	川北電気工業(株) 東京支社 非常用発電機改修	2			
修繕費	川北電気工業(株) 東京支社 切替工事等	3			
消耗品費	川北電気工業(株) 東京支社 遮熱フィルム	10			
建物附属設備	川北電気工業(株) 東京支社 電力デマンド監視装置	4			
計		68	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	川北電気工業(株) 東京支社	電気設備改修工事(エネルギーセンター電気設備) 他	68	随意契約	
2	(株)関電工 多摩支店	コンセントの増等 他	14	随意契約	
3	大和ハウス工業株式会社	研究所エリア高効率照明器具 一式	13	随意契約	
4	東光電気株式会社	電力デマンド監視取付(研究所)	2	随意契約	

*「入札者数」及び「落札率」については、入札案件(契約案件)が複数含まれている。